

平成 29 年度 北海道立生涯学習推進センター研修事業  
ICT活用セミナー 事業報告

I 事業の概要

研修テーマ ～ICTを活用したまちづくりの可能性を探る～

- 1 趣 旨 ICTを活用した取組が地域コミュニティの形成やまちづくりにつながっている好事例を紹介するとともに、取組の視点やコンテンツ作成のポイントを学ぶ機会とする。
- 2 主 催 北海道立生涯学習推進センター
- 3 期 日 平成 29 年 9 月 1 日（金）
- 4 会 場 北海道立道民活動センタービル 「かでの 2・7」820 研修室
- 5 参加対象 市町村・市町村教育委員会職員・学校職員・生涯学習関連施設（児童館、勤労青少年センター等）職員・青少年教育施設職員等・民間団体（NPO、ボランティア等）関係者・情報教育に関心のある方、地域の学習リーダー 等 30 名
- 6 参加状況 27 名（社会教育関係職員 8 名、社会教育関係職員以外 19 名）

7 日 程

| 10:00 | 10:15 | 12:15 | 13:00 | 15:00      |
|-------|-------|-------|-------|------------|
| 受付    | 開会式   | 実技・演習 | 昼食・休憩 | 講義・ワークショップ |

8 活動の概要

(1) 実技・演習「活用できる動画を作成するためのポイント」

【講師】北海道大学高等教育推進機構 CoSTEP 特任准教授 早岡英介氏

【内容】まちづくりの視点で専門的な動画コンテンツ作成に携わってきた講師に指導を受けながら、多様な学習機会の提供や魅力的なまちの紹介等に活用できる動画を作成する際のカメラワークや、素材が生きる編集のポイントについて、参加者が実際にカメラを操作し、録画するなどの活動を通して学ぶことができた。



(2) 講義・ワークショップ「まちづくりにつながるICTの活用とは？」

【講師】北海道大学高等教育推進機構 CoSTEP 特任助教 西尾直樹氏

【内容】多くの地域住民が気軽に情報にアクセスしたり発信したりすることができる今日において、まちづくりを加速化させるツールとしてのICTの可能性について理解を深めるとともに、相互にインタビューをする演習などを通じて、ICT活用の基礎的な要素として人と人との関わり合いが重要であることを学ぶことができた。



## II 事業の満足度

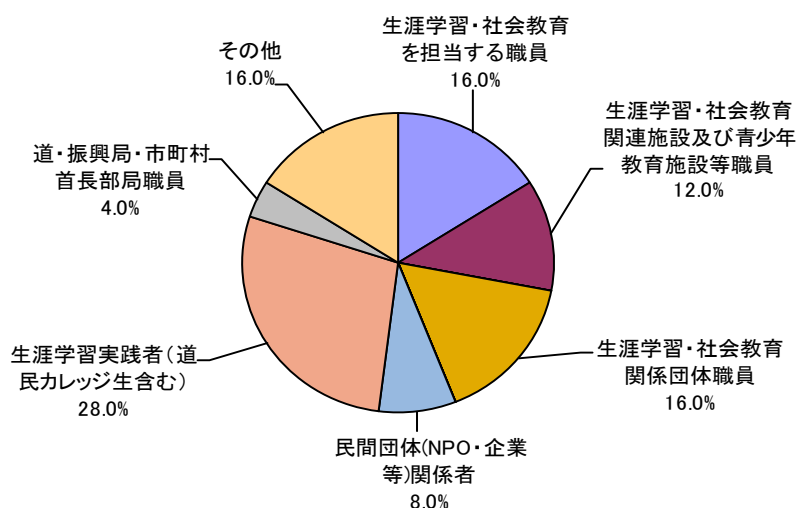
1 本講座参加者数 27名

(内訳) 社会教育関係職員の参加者数 8名 (29.7%)

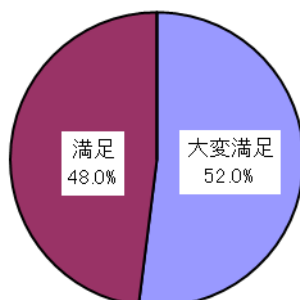
社会教育関係職員以外の参加者数 19名 (70.3%)

2 アンケート対象者数 27名 回答者数 25名 (回収率 93.6%)

参加者(所属)状況



3 講座全体をとおして



総合満足度

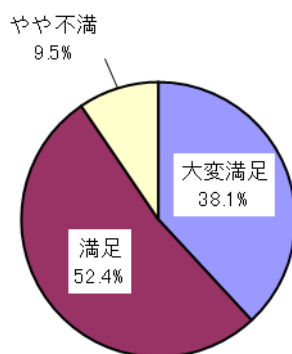
大変満足・満足  
100%

#### 【参加者の主な声】

- ・ ICT への苦手意識を減らすことができた。明日から使える学びがたくさんあった。
- ・ 具体的な機器の操作から対人関係に至る所作について具体的に学ぶことができた。
- ・ 初めての体験で勉強になった。
- ・ ICT を活用したまちづくりについて、基礎的な知識を得ることができた。
- ・ あまり考えたことのなかった、新しいことに触れることができ、取組のきっかけにできそうだったと思った。

#### 4 研修プログラムの内容について

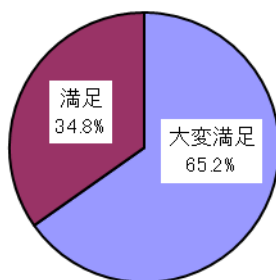
##### (1) 実技・演習「活用できる動画を作成するためのポイント」



#### 【参加者の主な声】

- ・ 撮影技術の基礎知識を得ることができた。
- ・ カメラワークの方法、保存について等、知りたかったことを聞くことができて良かった。
- ・ 実践しながら学べたので良かった。
- ・ 公的に発信する映像作成について、おさえておくべき要点を把握することができた。
- ・ 非言語表現の重要性を感じた。「映像にも編集者の意図がある」というのが大きな発見だった。
- ・ 内容がとても良かったので、長時間勉強できるタイムテーブルにしてほしかった。

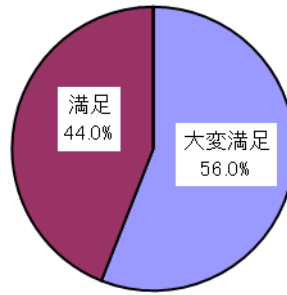
##### (2) 講義・ワークショップ「まちづくりにつながるICTの活用とは？」



#### 【参加者の主な声】

- ・ ICT について考え方の整理ができた。インタビューの要素もコミュニケーションの手法を用いており、興味深かった。
- ・ ICT 活用の動機は、人々の関係に資するものにするためであるということを知った。
- ・ 他の人とコミュニケーションをとるということは、とても必要で楽しいことだと思った。
- ・ まちづくりの ICT 活用の課題を理解することができた。
- ・ 公報の作成にインタビュー術を生かせるように頑張りたい。

## 5 講座の運営について



### 【参加者の主な声】

- ・ 実践的内容に重点を置いて相互交流があり良かった。
- ・ 年輩の方や大学生など世代の違う方や、NPO や教育委員会など職種の違う方とワークショップに参加できたのがとてもよい刺激になった。
- ・ いろいろなカメラがあって、興味深かった。
- ・ 知らなかったことを知り、実践してみるとモチベーションが高くなるので、これからも新しい情報を学習したい。
- ・ 時間設定が適切だった。部屋の広さ、机の配置など室温、明るさなどいろいろな面で参加しやすい環境であった。

## 6 その他、本講座をとおして気づいた点

### 【参加者の主な声】

- ・ ICTの基本は、まず、人と人との直接的なつながりが大切だと感じた。
- ・ ICTの活用と言っても、やはり、人と人とのつながりが基本であると再認識できた。
- ・ 知識の取得だけでなく、その実践の重要性を実感した。
- ・ インタビューの仕方や実践的なカメラの使い方がわかり、勉強になった。
- ・ 今後も継続実施してほしい。